

2014年度 第1四半期 決算説明会
主な質疑応答

Q1: 消費税増税の反動影響は？

A1: 想定の範囲内ではあるが、1Qで売上ベースにて70億円ほど。

Q2: 1QでのFCFが661億円となり改善が進んでいるが、2Q以降の見通しは？

A2: 1QのFCF創出には、前期年度末での販売増に伴い積み上がった売上債権の回収影響が効いている。
今期通年ベースでも1,000億円レベルでFCFを確保できると見ている。

Q3: 昨年から全社レベルで進めてきたコストダウン効果が、今後スローダウンする懸念などないか？

A3: 特に固定費を中心に削減を進めてきており、今後も継続的に効果が期待できる。

Q4: 1Qは好調に推移したようだが、下期にかけて業績に懸念のある事業はあるか？

A4: 特にはないが、銀価格の先行きなどが不透明。そのため通期予想の見直しは行っていない。

Q5: チェキが好調とのことだが、この傾向はどのくらい続くと見ているのか？

A5: チェキは若年層を中心に人気となっているが、幅広い年齢層に楽しんで頂けるような製品を提供している。
足元ではアジアから欧米にも販売が拡大しており、本年度の目標販売台数300万台を上回りそうな勢いでの手応えを感じている。

以上